

自立・自尊の経営をして参りましょう！

明けましておめでとうございます。令和2年がスタートしました。

世界を長期のスパンで鳥瞰すれば、ソ連という「社会主義国」が誕生して崩壊するまでに約70年を要し、最後の共産党独裁国も約70年が経過し、そろそろ“寿命が尽きる”と、専門家は語っています。

我が日本も戦後75年、大きく変化するタイミングにあります。

自主独立、国軍を持ち、自分の国は自分たちで守る！

この当たり前のことが、「平和憲法」(?)の名の下に、世界で最も怪しい隣国を“平和を愛する諸国民の公平と信義を信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した”と、寝ぼけたことを言って、いつまでもアメリカに甘えている訳に行きません。戦後75年、漸く自主自立、戦後の総決算の秋が来たのです。

我々の誇りある祖国、日本を支えるのは、我々日本人、一人一人の、強い信念と自覚と、そして、具体的な実践行動です。

国防以外にも、近々に想定される大地震への備えが必要です。南海トラフ地震や、首都直下型を想定して置きましょう。

急激な人口減少、高齢化が経済に及ぼす影響も軽くはありません。

緒に付いたばかりですが、トランプ・習近平の米中貿易摩擦も、気掛かりです。

それだけに、我々中小企業が、一致団結して、この難局に臨んでいく必要があります。中小企業の社長が、確固たる経営理念を堅持し、国益に資する防人の役目を果たす秋が来たと思います。何故、会社は利益を出さなければならないのか！何故、赤字では駄目なのか。社員の生涯に渡る生活を守り、会社を発展させ、国の安全を守り、将来を夢のあるものにして行くためです。

利益は、100万円より1000万円、1000万円より1億円と、出来るだけ多くして、適正に納税をして行くことです。内部留保は、3割の税という国民負担を払った残りなのです。これをケチると、節税だ、課税の繰り延べだと、本来、アクセルを踏み込むところを、ブレーキを踏んでしまうのです。それが賢い経営だと、安物の税理士がアドバイスするのですから、何をか言わんや、です。

今こそ、正々堂々と利益を出して参りましょう。全社員の心をつなげて、過去最高の利益を出して参りましょう。

だから、我々、中小企業の社長は、誇りを持てるのです。公務員や、偉い学者が納税し、日本を支えている訳ではありません。

令和2年、新しい年が始まりました。皇室の弥栄と、我々中小企業の発展を祈念し、益々頑張る参りましょう。



今月のポイント

日本を支えているのは我々中小企業
である！！誇りを持とう。